

編集後記

今号の内容は、依頼論文1本、研究論文1本、研究ノート2本、書評3本です。依頼論文はチリ大学のRicardo Tapia Zarricueta教授に、2019年の第56回全国大会での記念講演「Chile: Políticas de vivienda y urbanismo. Logros y desafíos para las próximas décadas」の論文をご寄稿いただきました。

今回の投稿論文は4本あり、2名の査読者による審査、および、編集委員会による協議の結果、1本を研究論文、2本を研究ノートとして掲載しました。今回、2本の投稿原稿に関して査読者の審査結果が異なりました。1本については、査読者の指摘に対して執筆者が真摯に対応しており、これ以上の意見の相違については、論文を掲載した上で広く議論をすることが望ましいと判断しました。もう1本については、事実の記述が中心で論文としては構成に改善の余地があるものの、丁寧に収集し整理された資料は掲載にふさわしいと判断しました。会員に研究発表の機会を提供し、その内容について会員間での意見交換を促すのが学会誌の役割だと当編集委員会は理解しています。今後も会員の皆様の積極的な投稿を期待しております。

書評に関しては、会員が著者または編者となって2020年5月ころまでに出版された本の中から3冊を取り上げました。今回は多くの本が出版されたため、日本語であること、執筆者が複数の場合より多くの会員が携わっていること、ラテンアメリカ地域に特化した内容であること等を基準に、選定を行いました。もれなく選定の対象となるよう、本を出版された方は本学会のメーリング・リストにより告知下さいますようお願い致します。

最後に、編集にご協力下さった会員の皆様、特に投稿論文の査読や書評の執筆をお引き受け下さった方々に、厚く御礼申し上げます。

編集委員会：近田亮平、桑原小百合、清水達也、舩方周一郎
(文責：近田)